

会 議 名	第3回協働によるまちづくりに関する意見交換会 まちの活性化 ～まちづくり、産業、農業～
開 催 日 時	平成31年2月7日（火） 18時30分～20時30分
会 場	新狭山公民館 ホール
出 席 者	26名
講 師 (ファシリテーター)	合同会社 Active Learners 共同代表 山ノ内 凜太郎 ・ 米元 洋次
概 要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. アイスブレイク 3. 情報共有「協働によるまちづくり条例にかける想い」 4. グループワーク <ol style="list-style-type: none"> ①智光山公園を観光スポットにするための新アイデア・新サービスを考える ②実現するためには何が必要か考える 5. 閉会
グループワークで 出た意見	<p><グループワーク①、②で出た意見></p> <p>別紙参照</p> <p><アンケート結果（抜粋）></p> <p>Q1：今回の意見交換会に参加してどう思いましたか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じテーマで何回か開催してもおもしろいかもしれない ・智光山公園について改めて考えることができてよかった ・とても楽しく有意義な時間でした。狭山市の人の力を感じました ・狭山をよくするためには何ができるか、話し合いの中で多くの意見が出ていて、実現してほしいと思う提案もたくさんあり、様々な意見を聞いて楽しかった ・実現可能なイベントなど一人では考えつけない内容が多く出た。とても参考になりました ・普段、テーマを与えられて他業種の方と話す機会がないため、様々な意見を聞くことができ、とてもよい経験になりました ・今後続けていくこと。また、アイデアや夢だけで終わらせてはいけないと思いました ・個々の経験や趣味などから様々なアイデアが出てきて、勉強になり非常に有意義な時間を過ごせました ・公園（市）をより良くしたいという意見（夢）が言えてとても充実した時間でした

- ・自分の視野の狭さに気付かされたと同時にこういった交流の場の重要性を再認識しました

Q2：あなたが感じた課題は何ですか？

- ・何かを創るにもお金の問題がついてくると感じました
- ・費用対効果
- ・実現性を持たせるにはどうすべきか検討する場があるといい
- ・世相の変動が激しいため、より柔軟な課題解決をする必要がある
- ・協力者やスポンサー等を募るプレゼン力、営業力が必要
- ・役割分担、継続性、収益性
- ・情報発信力
- ・いざ実行するにあたって、予算の関係や誰がいつやるかなどを決めること
- ・小さな地域課題に対しても意見交換をできるといい
- ・一つ一つのプロジェクトに掛けられる時間は限られてくると思います。そのため、その一つ一つにワクワクして力を注ぐ人を学生や若者などと共に進めていくなど、協力者が必要と感じました
- ・このような意見交換会を継続的に実施していくこと

Q3：協働を進めていくために何が必要だと思いますか？

- ・市役所の方々の熱意
- ・狭山の人々と語り合うこと
- ・市民、企業、行政のつながり
- ・より多くの人に参加してもらい、様々な意見を聞くこと。最終的に今回出た意見を実現させるための機会を設けてほしい
- ・市民、事業者、市がより密接にコミュニケーションを取り、素早く正確な意思の疎通が図れるようにすること
- ・資金や自立性、稼ぐ仕組みづくりが必要。市民の方や協力者がやらされてる感を感じることなく協働事業に参加できる仕組みづくり
- ・今回のような話し合いの場を設け、様々なアイデアを吸い上げること
- ・常に子どもの未来を意識した話しをすること
- ・熱い想いを持った企業、個人の方をどう集めるか
- ・行政職員や市民の意識改革
- ・小学生から高齢者まで多くの意見を聞くことが必要であり、実現に向けて中心になって活動する人が大変重要であると思う
- ・特定の個人の努力でなく、全ての市民が関わる意識を持つこと
- ・協働の事例をPRしていくこと

Q4：協働するにあたりあなたは何ができると思いますか？

- 協働について考えていく機会を増やしていきたいと思う
- 狭山市について勉強すること
- 自分に何ができるか検討しできることからやってみる
- 他産業や市民と積極的なコミュニケーションを図れるようにする
- これまで知り得たネットワークをつなぐこと
- 提案された事業が実現できるように協力していくことができればと思います。